

**記者発表資料**

平成28年11月29日(火)

**日高市**

健康推進部 長寿いきがい課 高齢者支援担当

TEL 042-989-2111 内線1707

担当職・氏名 課長 大沢 宗明

**全国初！！****発見者と保護者が直接やり取りできる  
徘徊高齢者伝言板システムを導入します**

他の市町村で導入しているQRコード読み取り方式のシステムでは、発見者がQRコードを読み取ったのち、市役所に連絡し、市役所担当者が身元特定番号等をもとに身元確認を行って、保護者に連絡をとる必要がありました。しかし、この方法では、夜間や休日など市役所の開庁時間外のケースに対応しきれない、やり取りに時間がかかるなどの問題を抱えていました。

今回、日高市で導入するシステムでは、QRコードを読み取ると伝言板が表示され、発見者が現在の居場所等を入力すると保護者あてにメールを自動送信。発見者と保護者の双方で直接やり取りできるため、保護者は24時間365日いつでも素早く高齢者を迎えに行くことが可能となります。

**導入時期** 平成29年1月**対 象**

- 市内に住所がある人で、介護保険の要介護または要支援の認定を受けており、徘徊行動のある人
- 医師により認知症と診断された人 など

**配布内容（1人当たり）**

- 耐洗コードラベル（衣類用アイロンプリントタイプ） 30枚
- 蓄光シール（杖、靴等用シールタイプ） 10枚

## 日高市で導入するシステムの特徴

- QRコードを読み取ると伝言板が表示され、発見者が現在の居場所等を入力すると保護者あてにメールを自動送信。発見者と保護者の双方で直接やり取りできるため、保護者は24時間365日いつでも素早く高齢者を迎えに行くことが可能。
- QRコードの内容には、本人の名前や住所、電話番号等の個人情報が入っていないため、個人情報漏えいのリスクがない。
- 事前準備は簡単な情報の登録と、衣類等へのシールの貼り付けのみ。
- 本システムの導入は、当市が全国で1番目となる。

## 流れのイメージ



## 見守りシール

耐洗コードラベル (縦2.4cm×横5.0cm)

蓄光シール (縦2.4cm×横4.5cm)

